



福島県では、ふくしまに想いを寄せる方々の協力を得ながら、ふるさと復興の決意を新たに、ふくしまから“共に”新たな何かをはじめの活動として「ふくしまからはじめよう。プロジェクト」を展開しています。

環境回復プロジェクト

“ふくしま”の環境回復・創造のために

福島県環境創造センター

県では、三春町に環境創造センターの一部（本館）を開所し、業務を開始しました。環境創造センター本館は、これまで環境放射能の監視等を行ってきた『福島県原子力センター』及び環境の調査分析などを行ってきた『福島県環境センター』を統合し、また新たに環境回復・創造に向けた研究を行う研究部を新設した組織となります。なお、交流棟、研究棟などは、平成28年度に開所予定です。

環境創造センターとは

福島第一原子力発電所事故により“ふくしま”の環境は大きく変わってしまいました。

環境創造センターは環境の回復・創造に向け、モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行う拠点施設として、福島県が設置します。

県では、みなさんが安心して暮らせる“ふくしま”にするため、平成28年度のグランドオープンに向けて引き続き環境創造センターの整備を進めていきます。

環境創造センターの施設概要

1 三春町に整備する施設

モニタリング、調査研究、情報収集・発信、教育・研修・交流の4つの機能を有し、本館、研究棟、交流棟（愛称：コミュニタン福島）で構成され



開所した本館
（三春町）

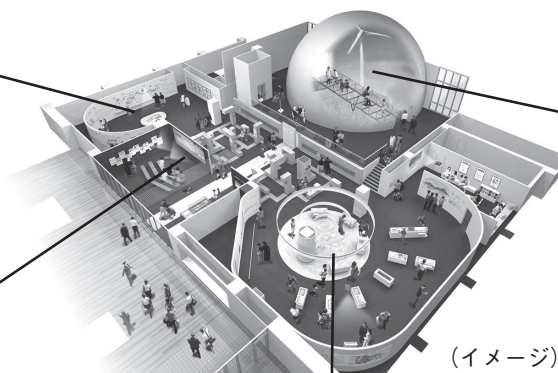
交流棟展示室の概要

環境創造ラボ

環境創造へ向けて「自分ができること」、「みんなのできること」への意識を醸成する展示エリア。

フロム 3.11 スクエア

原子力発電所の事故からの福島の歩みを伝えるとともに、福島の今を知ってもらう全体の導入展示エリア。



（イメージ）

環境創造シアター

福島の環境の未来像を全球型映像で体感し、来館者が共有するシアター。

直径12.8メートルの球体の内側すべてがスクリーンになっており、球体の中から360度全方位に映し出された映像を観覧することで、独特の浮遊感、没入感などを味わうことができます。

放射線ラボ

「知る」、「測る」、「身を守る」、「除く」という4つのテーマで、体験を通して放射線について学ぶ展示エリア。

ています。

招致機関（日本原子力研究開発機構及び国立環境研究所）と連携・協力して、調査研究などを効果的に推進します。

交流棟には、国際会議、学会などを開催するホール・会議室、放射線教育などを目的とした展示室や研修室などを備えます。

2 南相馬市に整備する施設 （環境放射線センター）

主に原子力発電所周辺のモニタリングや安全監視を行う施設です。



環境放射線センター

3 大玉村に整備する施設

野生生物のモニタリングなどの機能を有します。



4 猪苗代町に整備する施設

猪苗代湖・裏磐梯湖沼群に関する調査研究のための機能を有します。



環境創造センターの事業方針

1 モニタリング

空間線量や放射性物質のきめ細やかで継続的なモニタリングを行うとともに、緊急時におけるモニタリング体制を整え、緊急時の対応に当たります。

2 調査研究

“環境創造センター中長期取組方針”の基本的考え方に沿い、効果が高いと見込まれる調査研究を優先的に選定し、関連する研究を計画的、体系的に進め、適時・的確にその成果を活用していきます。

3 情報収集・発信

関係情報を一元的に収集整理し、県民の皆さんが分かりやすい形で活用できるような情報発信体制の整備を進めるとともに、世界が注目する知見や経験を国際的に共有するための積極的な情報収集・発信を行います。

4 教育・研修・交流

福島県の環境の現状や放射線に関する正しい情報を伝え、本県の未来を創造する力を育むための教育・研修・交流に取り組みます。また、大学などと連携した長期にわたる人材育成に貢献します。

環境創造センター（三春町）へのアクセス

▼お車をご利用の場合

磐越自動車道船引三春ICより約5分

▼電車をご利用の場合

JR 三春駅より車で約12分

JR 要田駅より車で約7分

住所／福島県田村郡三春町深作10-2

TEL／0247-61-6111

（環境創造センター総務企画部）